

「茅野市DX基本計画（案）」に係るパブリックコメントにお寄せいただいたご意見と市の考え方等について

「茅野市DX基本計画（案）」に係るパブリックコメントを実施したところ、下記のとおり貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見を要約、集約し、それに対する市の考え方等をまとめましたので公表します。

| 1 意見の募集期間               | 2 意見の提出者数と件数 |    | 3 意見の提出方法別人数 |    |     |    |   |
|-------------------------|--------------|----|--------------|----|-----|----|---|
|                         | 提出者数         | 件数 | メール          | 郵送 | FAX | 持参 | 計 |
| 令和7年1月6日（月）～<br>2月5日（水） | 8            | 42 | 7            | 0  | 0   | 1  | 8 |

いただいたご意見とそれに対する市の考え方等

| No. | ページ    | 該当する箇所等                     | いただいたご意見の概要                                                                                         | 市の考え方等                                                                                                                       |
|-----|--------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 4      | 「幸せを実現できるまち」に向けたDXの取組経過     | 「茅野市スーパーシティ構想」、「デジタル田園健康特区」指定に係る事業について、市民の理解が深まったと考えているか。                                           | まだまだ市民の皆さんにしっかりとお伝えできていないと考えています。DX基本計画に基づき、それらの取組内容をお伝えする学びの場を設定する等し、引き続き市民周知に努めていきます。                                      |
| 2   | 7      | DX基本構想からDX基本計画へ             | 「未来型ゆい」とは何かの注意書きが欲しい。又は「P17参照」などを入れて欲しい。                                                            | 7ページに記載いたしましたとおり、DX基本構想では、「未来型ゆい」を「デジタル技術やデータの活用により、「住む人」「訪れる人」「関わる人」の力をつなげ、“まち”の力にする」仕組みと定義しています。                           |
| 3   | 8      | 第6次茅野市総合計画における「DX基本計画」の位置づけ | 図の一番下に「縄文文化からの学び」とあるが、曖昧すぎてどんな価値観なのか全くわからない。基本計画に「縄文文化」という言葉が出てくるのはこの箇所だけであり、本当に必要な価値観なのか検討をお願いしたい。 | 8ページは、第6次茅野市総合計画におけるDXの位置づけを振り返っているページで、左の図は、第6次茅野総合計画基本構想から抜粋したものです。「縄文文化からの学び」については、第6次茅野市総合計画で説明しています。                    |
| 4   | 10他    | DXで目指す社会                    | 「全体最適」の言葉がたびたび使われているが意味が分からない。分かりやすい言葉に変えて欲しい。                                                      | 12ページに記載しましたとおり、「個別の課題解決が新たに誰かの困難を生むことなく、社会全体の幸せが向上する」ことを「全体最適」としています。また、その具体例を21ページに記載しています。                                |
| 5   | 13, 35 | 意見の反映・参加の促進の取組事例            | 意見の反映、参加の促進の取組がいまいち分からない。茅野市はデジタル化を進めるにあたり、デジタルが苦手な市民からどのようにして意見の吸い上げ、どのような機会を作るのか分かりやすく教えていただきたい。  | DX事業の企画、評価、改善案の検討の各場面において、市民の方から、アンケート、対面等でご意見をお聞きし、事業に反映をしていきます。また、事業実施にあたっては、アプリの操作説明会等を実施し、デジタルが苦手な方も参加していただけるよう、努めていきます。 |

| No. | ページ | 該当する箇所等                       | いただいたご意見の概要                                                                                                                                                                        | 市の考え方等                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | 14  | 茅野市のDXを進める<br>うで大切にすること       | 「ヒューマンファースト」がどういう意味なのか分かり<br>難い。デジタルが苦手な人も、子どもから高齢者まで分<br>かりやすい言葉の方が親しみやすいと思う。「誰もが使<br>えるDX」はどうか。                                                                                  | 茅野市が進めるDXは、デジタル導入を第一に考えるので<br>はなく、市民の皆さんの課題を中心に考え、デジタルが<br>得意な人も不得意な人も全ての人が幸せになれる、人を<br>中心としたDXです。このことを一言で表す合言葉とし<br>て、「ヒューマンファースト」としました。茅野市の目<br>指すDXについてご理解いただけるよう、情報発信に努め<br>ていきます。 |
| 7   | 14  | 茅野市のDXを進める<br>うで大切にすること       | 日々の生活に追われている市民がサービスの立案から改<br>善検討まで携われるとは思えない。参加しやすい方法を<br>考えて欲しい。                                                                                                                  | いただいたご意見を踏まえ、市民の皆さんが参加しやす<br>い方法を検討していきます。                                                                                                                                             |
| 8   | 14  | 茅野市のDXを進める<br>うで大切にすること       | 本当にヒューマンファーストを大切にするなら市民目線<br>を忘れないで欲しい。                                                                                                                                            | 市民目線を忘れずに、取り組んでいきます。                                                                                                                                                                   |
| 9   | 17  | 第1項<br>デジタルインフラの<br>構築と活用     | 「県内初」の仕組みでなくて良いので、茅野市にあった<br>仕組みを考えて進めて欲しい。                                                                                                                                        | 基本計画に基づき、茅野市に適したDXに取り組んでいき<br>ます。                                                                                                                                                      |
| 10  | 17  | 第1項<br>デジタルインフラの<br>構築と活用     | 「データ連携基盤（都市OS）」「デジタルインフラ」とは<br>何か。言葉の説明が欲しい。                                                                                                                                       | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                                                                                                                                                    |
| 11  | 17  | 第1項<br>デジタルインフラの<br>構築と活用     | 「デジタルインフラ活用の利点」は企業向けの説明に思<br>える。市民生活に結びついた利点を挙げて欲しい。                                                                                                                               | 18, 19ページで、デジタルインフラを活用することで、市<br>民の皆さんにどんなメリットがあるかを例示していま<br>す。                                                                                                                        |
| 12  | 18  | デジタルインフラの<br>活用による利点 1 /<br>2 | デジタルインフラの利点として防災の事例を挙げている<br>が、実際どのように避難所収容者の状況を把握し必要物<br>資が適切に配布できるのか、どのようにデジタルが生か<br>されるのか詳しく知りたい。公共施設、避難所にWi-Fiが<br>設備されていないと思うが、そこから必要ではないか。<br>ドローンを活用した取組や防災訓練等も必要ではない<br>か。 | 18ページはデジタルインフラを活用すればこのようなこ<br>とができるという例であり、具体的な内容はまだ決まっ<br>ていません。<br>基本計画では、令和7年度からの3年間の重点テーマの<br>一つとして、「防災」を掲げています。いただいたご意<br>見や市民の皆さんの声を踏まえ、重点テーマに関する具<br>体的な取組内容の検討を進めていきます。        |

| No. | ページ    | 該当する箇所等                | いただいたご意見の概要                                                                                     | 市の考え方等                                                                                                                    |
|-----|--------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13  | 18     | デジタルインフラの活用による利点 1 / 2 | 能登半島地震では基地局の被災によりスマホが使えない地域が多数あった。ネットワークを介してデジタルを活用するなら災害に強い基地局の設置や、公共施設へのWi-Fiや光通信の整備等が必要だと思う。 | 基本計画では、令和7年度からの3年間の重点テーマの一つとして、「防災」を掲げています。いただいたご意見や市民の皆さんの声を踏まえ、重点テーマに関する具体的な取組内容の検討を進めていきます。                            |
| 14  | 19     | デジタルインフラの活用による利点 2 / 2 | 情報を扱う人、管理する人にとっては生涯にわたっての全ての情報をまとめ閲覧できることはメリットかもしれないが、一市民の個人的意見では、そこにメリットは感じない。                 | 例えば、出生記録、予防接種記録、アレルギー情報など、今は紙で記録されている情報をデータとして一ヶ所で確認できるようになることで、必要な時にデータを取得しやすくなります。こういったメリットについてご理解いただけるよう、情報発信に努めていきます。 |
| 15  | 19, 29 | -                      | 個人情報の取扱いへの注意が度々書かれていてとても良いと思ったが、DX利用者が認知症になった時や死亡した時の情報の扱いはどうなるか、検討が必要だと思う。                     | 国等の動向を踏まえ、検討を進めていきます。                                                                                                     |
| 16  | 23     | 推進体制                   | 「PIA（プライバシー影響評価）」「ステークホルダー」「データガバナンス部会」の言葉の意味がわからない。言葉の説明が欲しい。                                  | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                                                                                       |
| 17  | 23     | 推進体制                   | 「茅野市DX推進協議会」、「茅野市DX外部評価委員会」等の半数は女性にして欲しい。そういったことも計画に盛り込める茅野市であって欲しい。                            | いただいたご意見を踏まえ、女性も参加しやすいDX事業に努めていきます。                                                                                       |
| 18  | 24     | DXの展開に関わる各団体等の役割       | 「アーキテクト」の言葉の意味が分からない。言葉の説明が欲しい。                                                                 | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                                                                                       |
| 19  | 24     | DXの展開に関わる各団体等の役割       | 「ワーキンググループ」が「WG」と略されていたりいなかったりで読みにくい。「ワーキンググループ」の表記で統一して欲しい。                                    | 表記を修正します。                                                                                                                 |
| 20  | 29     | 第1項原則とルール              | 「市民サクセス」、「市民共同型ガバナンス」、「ブラッシュアップ」の言葉の意味がわからない。言葉の説明が欲しい。                                         | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                                                                                       |

| No. | ページ   | 該当する箇所等                   | いただいたご意見の概要                                                                                                                                     | 市の考え方等                                                                                                                                                             |
|-----|-------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 21  | 31～36 | 第2項 意見の反映・参加の促進           | 退職した方等でスマホ等の知識が豊富な方に、有償で講師をお願いし、初心者向けの「スマホ教室」を開いてはどうか。                                                                                          | 市民の方に主体的にDXに参加いただくことはとても大切なことだと考えています。<br>いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。                                                                                        |
| 22  | 32    | ①意見反映の仕組み（市民の誰もが参加できるように） | 「リビングラボ」、「アイデアソン」の言葉の意味がわからない。言葉の説明が欲しい。                                                                                                        | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                                                                                                                                |
| 23  | 37    | 第3項 学びの場の提供               | 「スマートシチズン」という言葉が文章の意味を難解にしている。わかりやすい言葉を使って欲しい。                                                                                                  | 様々な学びを通して、情報機器を使用しない人も含め、まちづくりの1つの手段としてのデジタルの有用性と安全性を理解した、ヒューマンファーストなまちづくりに参画する市民を「スマートシチズン」と定義しています。                                                              |
| 24  | 39    | ②持続可能な学びの場の展開             | 「最大の効果」とは何か。右下にはお金の絵が挿入されているが、これを見ると基本方針と基本理念は建前で、金儲けのためのDXに見える。                                                                                | 「費用対効果」を連想するものとしてお金のイラストを入れていましたが、いただいたご意見を踏まえ、イラストを修正します。                                                                                                         |
| 25  | 37～41 | 第3項 学びの場の提供               | スマートフォン、PC を持たない高齢者へのDX 推進方法を教えてほしい。                                                                                                            | まずはDXを進める必要性についてご理解いただけるような学びの場を設定し、DX推進の機運醸成に努めていきます。<br>また、DXの推進にあたっては、スマートフォン、PC を持たない方も含め、全ての人がDXのメリットを受けられる社会の実現を目指していきます。（例：スマートフォンやPCをお持ちでない方でも、のらぎあを利用できる） |
| 26  | 37～41 | 第3項 学びの場の提供               | 地域DXを進めるうえで、どのレベルの方にシステムの標準を合わせるか。デジタルリテラシーの低い人に合わせるとDX化はなかなか進まず、ますます先進国から引き離される。地域DXにある程度の進歩性を入れつつ、デジタルリテラシーの低い人には教育などでデジタル化についてきてもらう必要があると思う。 | デジタルに対する認識や活用度合いに差がある市民の皆さんが、安心してDXに参加するための理解と協力を高めるために、広く、持続的な学びの機会を提供していきます。                                                                                     |

| No. | ページ   | 該当する箇所等           | いただいたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 市の考え方等                                                                                                                                           |
|-----|-------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 27  | 37～41 | 第3項 学びの場の提供       | 小学校を会場として、地域住民に対するリモート講座（スマホ教室など）を実施してはどうか。                                                                                                                                                                                                                                                    | いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。                                                                                                                |
| 28  | 46～55 | 第6章 DX事業の展開方法     | 「茅野市DX基本計画」に係る予算（令和7,8,9年度）を教えてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                            | 令和7年度の事業費については、毎年公表している一般会計予算書で明記されます。<br>令和8,9年度については、DX基本計画に定めた手順に基づき、市民の皆さんの声をお聞きしながら具体的な取組内容をこれから検討していく予定ですので、現段階では予算額を定めていません。              |
| 29  | 49    | 地域DX<br>ーこれからの取組ー | 地域DX（DXを活用した市民の“くらし”や地域の課題解決）を推進する旨の記載が基本計画にあるが、茅野市として地域（の日常生活）を支援する具体的な内容の記載が全く見当たらない。地域のくらし（日常生活）の課題を解決するための施策をお願いしたい。                                                                                                                                                                       | 基本計画では、令和7年度からの3年間の重点テーマの一つとして、「地域コミュニティ」を掲げています。<br>DX基本計画に定めた手順に基づき、市民の皆さんの声をお聞きしながら、重点テーマに関する具体的な課題を把握する中で、今後の取組内容について検討を進めていきます。             |
| 30  | 49    | 地域DX<br>ーこれからの取組ー | 地区の活動も高齢化、人口減の影響を受けており、役員のなり手不足も問題になりつつある。DXにより、役員活動の軽減が図れないか（地区行事の書面作成をAI活用して自動化する、スマホなどで回覧物を回覧し、印刷代や回覧する手間を軽減する、区費等について現金集金を残しつつ、paypayなどのデジタル通貨での支払いを可とする等）。デジタル庁でこのような地区ごとのシステム化を検討しているかどうかは分からないが、茅野市で先んじて開発を行い、他の市町村へ販売して、収益化するという事も考えられる。<br>ただし、スマホをお持ちでない方もいるので、今後どのように展開していくかは検討が必要。 | 基本計画では、令和7年度からの3年間の重点テーマの一つとして、「地域コミュニティ」を掲げています。<br>いただいたご意見や市民の皆さんの声を踏まえ、重点テーマに関する具体的な取組内容の検討を進めていきます。また、事業の推進にあたっては、スマホをお持ちでない方への対応も検討していきます。 |

| No. | ページ | 該当する箇所等           | いただいたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 市の考え方等                                                                                                      |
|-----|-----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 31  | 49  | 地域DX<br>ーこれからの取組ー | <p>茅野市が「デジタル田園健康特区」に指定されたと知って、一番最初に、地域コミュニティの革新ができるのではと期待した。</p> <p>仲間内だけの情報共有でなく、区行政に関わること、公民館分館の活動に関わること、災害時の情報などを個別に提供できれば、効率的に、迅速に情報の提供や共有ができる。紙ベースとは別の「デジタル版広報ちの」による茅野市からの情報発信、防災無線に代わる災害情報等の発信、各区行政や公民館分館からのお知らせなどを一元的に各個人に配信できる仕組みづくりの支援に期待する。</p> <p>防災無線情報は、一定の情報発信機能を有しているが、あくまで音声であり、決まった時間にしか放送を聴取できず、聞き逃しがあればその時点で情報の共有が困難となる。また、市からの助成があるとはいえ受信機を購入するのに高額な金銭的負担を強いられることもあり、受信機を購入することをためらう区民も存在し、その面からも限界を感じる。</p> <p>区政情報のデジタル化が進めば、区内のネットワークづくりにも寄与し、各種会合や諸行事の案内、その結果報告、緊急時などの情報共有が容易になる。</p> <p>手元のスマートフォンなどで情報取得や情報発信、ネットワークづくりができる時代において、それを利用しない手はない。積極的に各区へのアプリ導入に向けたご支援をお願いする。</p> | <p>基本計画では、令和7年度からの3年間の重点テーマの一つとして、「地域コミュニティ」を掲げています。いただいたご意見や市民の皆さんの声を踏まえ、重点テーマに関する具体的な取組内容の検討を進めていきます。</p> |

| No. | ページ | 該当する箇所等           | いただいたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 市の考え方等                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 32  | 49  | 地域DX<br>ーこれからの取組ー | <p>○提案事項その1：PTA内部向けクラウドアプリ導入による効率化の試行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に集まっての打ち合わせではなく、チャット中心、Web会議中心の活動スタイルへ</li> <li>・Line WorksのようなアプリのPTAへの導入を茅野市にバックアップしてもらうことで、PTA活動の効率化を計る。</li> </ul> <p>○提案事項その2：各家庭に向けクラウドアプリ導入によるPTA活動の効率化の試行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAでは、各家庭に向けて、PTA広報誌を印刷し配布しているが、コストも手間もかかっている。</li> <li>・Line公式アカウントのPTAへの導入を茅野市にバックアップしてもらい、Line公式アカウントからの発信を通して、PTA広報誌の代わりとすることで、PTA活動の効率化を計る。</li> </ul> | <p>PTAは学校ごとに保護者と教職員で組織された任意の団体ですので、PTA活動で必要となるアプリの導入については、PTAの中でご検討いただければと思います。</p> <p>なお、茅野市が提供している「茅野市どっとネット」というポータルサイトには、地域コミュニティ機能があります。この機能を使うことで、役員への連絡配信、電子化した広報誌の配信、アンケート配信、行事予定管理などを無料で行うことができますので、こちらの活用についても、ご検討いただければと思います。</p>                   |
| 33  | 51  | 庁内DXの進め方          | 「CDO 補佐官」の役割、責任の範囲、選出の経緯、報酬等、具体的に教えてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>地域DX事業を推進するにあたり、行政職員だけでは専門知識が不足するため、令和4年9月から、内閣府地方創生推進室の「DX地域活性化チーム派遣事業」を活用して、民間事業者からの派遣を受け、CDO補佐官を設置しています。主な役割は、システム開発管理、行政職員に対する知見の提供や技術的助言等です。また、CDO補佐官のほか、セキュリティ分野の専門家の派遣も依頼しており、派遣に係る経費として、令和5年度は年額約24,800千円を支払いました。また、支払った額の1/2は、国からの交付金で賄っています。</p> |
| 34  | 51  | 庁内DXの進め方          | <p>出生届を提出したら自動的にマイナ保険証が発行される、死亡届を提出したら戸籍や住民票が除籍になるとともに、保険証の廃止手続きや年金の停止手続きがいつ頃に終わる等、申請手続きの簡略化について、検討してほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                      |

| No. | ページ | 該当する箇所等                    | いただいたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 市の考え方等                                                                                                                                                                                                  |
|-----|-----|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 35  | 55  | 庁内DX ー1期（令和7年度～令和9年度）の進め方ー | 「首都圏からの移住を促進する」とあるが、なぜ首都圏限定なのか。移住を促進するなら日本全国が対象であると思う。「首都圏」という言葉を削除又は「全国」と改めてもらいたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | いただいたご意見を踏まえ、表現を修正します。                                                                                                                                                                                  |
| 36  | 57  | 各事業における評価指標                | 庁内DXの評価指標について、削減金額評価（効果）に置き換えることはできないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ガバメントクラウドへの移行は国が先導をしている事業で、国が示したスケジュールどおりに事業を進めることが大きな目標の一つであること、書かない窓口及びキャッシュレス収納は市民の利便性向上を目的とした事業であること、AI/RPAの活用についてはこれから活用する事業を選定するため削減額の目標を定めることが難しいことから、評価指標を削減金額評価とするよりも、お示した評価指標の方が適していると考えています。 |
| 37  | 57  | 各事業における評価指標                | <p>このDX基本計画により、防災対策や健康管理、住民参加などの多くにこれまで以上のサービスが行きわたり「幸せを実現できるまち」「人の幸せを生み出す」茅野市のDXに近づくことを感じさせる。</p> <p>その一方で、現在、茅野市が最も強く進めている行財政改革の点から見ると、この計画には、将来、「過去の政策によって負わされた負担」と言われたいための視点が欠けているように思う。</p> <p>DX基本計画に是非加えたら良いと思うのは、現在の行政コストと比較した将来的な「コストメリットの数値目標」の設定、現在の行政職員の人員と比較した「省人化の数値目標」の設定である。</p> <p>もしも「コストメリット」「省人化効果」の目標設定ができないのであれば、単純に負担増、業務増大の施策になる。この施策が従来比較でない「新たな価値を生み出す施策」の場合でも、掛ける費用の判断指標は必要である。</p> | DX基本計画に定めた手順に基づき、市民の皆さんの声をお聞きしながら具体的な取組内容をこれから検討していく予定です。このため、現時点で具体的なコストメリット及び省人化の数値目標をお示しすることはできません。今後具体的な事業を立案する際には、引き続き費用対効果、省人化に留意していきます。                                                          |

| No. | ページ | 該当する箇所等 | いただいたご意見の概要                                                                                                    | 市の考え方等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|-----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 38  | -   | -       | 「MELL+」「LEBER」「母子モ」のアプリ導入経緯及び導入費用を示してほしい。また、アプリ取り扱い評価、アプリ開発企業評価は誰がどのように検証するか。                                  | <p>○MeLL+について<br/>茅野市はデジタル田園健康特区の指定を受けるに当たり、在宅医療を含む医療・介護関係者の業務効率化と情報連携の高度化を進めることを提案しました。この提案を実現するための一つのツールとして、MeLL+を令和4年度に導入しました。アプリの導入等システム構築に係った費用は約2,700千円で、全額を国からの交付金で賄っています。</p> <p>○LEBERについて<br/>小児オンライン相談サービスについて令和5年度に実証調査を行ったところ、市民に皆さんから好評であったこと、また、アプリを使った事前相談を行うことで適正受診が促進され、その結果として、医療費の縮減や医療機関の負担軽減が期待できることから、本年度、プロポーザル方式により事業者を決定し、総務省の補助事業を活用して、オンライン相談アプリLEBERを実装しました。アプリの利用にあたり、令和6年度は月額約250千円を支払っています。</p> <p>○母子モ<br/>県内の地方公共団体が必要とするアプリ選定をし、共同利用の取りまとめや運営を行っている自治振興組合が、令和元年にプロポーザル方式により選定をしたアプリです。<br/>茅野市では母子保健分野のDXを図るため、令和5年度からの利用しています。アプリの利用にあたり、令和6年度は年額約610千円を支払っています。</p> <p>個人情報の取扱いの安全性については、市とデータガバナンス部会で、パーソナルデータ取扱い基準に基づき確認し、評価します。</p> |
| 39  | -   | -       | 予算が限られてる中でどの部分をDXで対処するのか見極めが難しい。高齢者が暮らしやすい状況をDXで作り出すことも重要だが、それとともに、若い人たちが居住し続けられるような環境を地域DXで提供していくことがより重要だと思う。 | いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

| No. | ページ | 該当する箇所等 | いただいたご意見の概要                                                                                                                                            | 市の考え方等                                                 |
|-----|-----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 40  | -   | -       | 複数の小学校を対象に、リモート授業をしてみてはどうか。<br>教員は、どちらかの小学校から別の小学校へ授業を配信し、児童はこれまでどおり現在の小学校に登校する。知識を会得する授業はこの方法で問題無いと思われるが、体育のような実地科目は教員が近くにいる必要があると思うので、何か対策が必要だと思われる。 | いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。                      |
| 41  | -   | -       | プラットフォーム、メタバース、カタログサイト、レコメンドなど、良く分からない用語が沢山あり、分からない文章ばかりだった。高齢者の方も分かるような言葉を使う、その意味を載せるなどの配慮をお願いしたい。                                                    | 資料編として、用語の説明を掲載します。                                    |
| 42  | -   | -       | カタカナや英語頭文字の略語が多くて読みにくく、分かりにくい。この計画を見ても市民の暮らしが「ゆとり」ある「しあわせ」なものになるイメージが湧かない。                                                                             | DX基本計画についてご理解いただけるよう、DX基本計画に関する説明会を開催する等、情報発信に努めていきます。 |